〔可認物便郵種三第〕 昭和七年六月二十三日 磐城新聞 〔木曜日〕 第三千四百六十號 〔一〕

夕刊 磐城新聞
六月二十二日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通五號十二字詰一行金六拾錢 特別（場所指定）一行金九拾錢
編輯印刷發行人 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
振替貯金（ダイヤル）平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

小野君へ贈る（上）

『黒土會』 吉澤生

途上漫筆の小野君、君が如何なる階級にある御仁か又如何なる職業を持つ人間かは私の知るところでない。たゞ君の十六日（途上漫筆、三十六）に於ける農村觀、優越しきつた斷定ぶり、お爺さんらしい寢言に、否石邊金吉式な愚論が少なからず癪に障つた農村青年のタハ言をお聞して頂きたい。そして鼻クソか爪垢程でもお藥になれば私の幸甚とするところである。

『近頃の農民は働く事が少ない、口にのみ勤勞を稱へ果して勤勞の人が幾人あるか』と仰言られてゐるところを見ても君は農村民でない、農村生活の遠縁にも當つてゐない事を窺はれる、果して勤勞の人が幾人あるかつて、冗談じあないせ。

現在の農民（働らけるすべて人）は一日能く十數時間の勞働を續けてゐる。それは〃度迄切つた時計のゼンマイの樣に、これ以上どうにもならないのだ、勤勞を通り越して過勞に落ち込んでゆく者が如何に多いか。

君は農村疲弊の原因が農民の働き不足にでもある樣に考へてゐる。

君はリヤカー、自轉車な農村生活の中に取り入れる事は盲目的無計算から來た仕打だとヌカシてゐる。

莫迦な！折角だがみんな逆送だ。

一日十數時間の勞働を續ける事によつて農村は、そして救はれ得るだらうか？

否！斷じて否だ！

一言斷つて置くが百姓だつて人間なんだせ、小野君がお氣に召す農民タイプ：…イが栗頭で、紺の股引、草履バキ、盆踊もカルタも駄目、音樂にもスポーツにも手が出ない、娯樂と云ふ娯樂はみんな不生産的な！と決めつけるお惡い人、嫌に憂農志士氣取つてイガミ面、若者間では爪ハジキ、婦女子間では敬遠される御仁が一村に一人や二人はよくある例だ、それでも御當人は一向平氣でさもしき心に鞭打つて自分一人で偉がつてゐるのだからせわのない話だ――何んだか八木節にでも出て來そうな文句だからこの邊で止めて置くとしやうか。

君の言葉を用ひて一日十數時間の勞働を續けたからとてどうなるか、結局食へないのに違ひはないのだらう。

働けど働けど尙、吾が生活、食ふに足らざりぢつと手をみる。

啄木の歌が我々の心に尙深く、尙强く刻まれてゆくばかりだ。

次の論説は文藝誌『黒土』に載せたものであるが參考までに次に所載する味讀されんことを。

美澤氏へ。『泥試合の理論的敗北』一兩日中に掲載。

旅にて唄へる（上）

川口政子

○何處まで？と聞かれて困り兎も角も上野と答へぬあてはなけれど
○きまぐれのきまぐれ者の旅なればふと下りてみぬいなげの海に
○年若き一人の旅なあやしみてクド／＼問へる老女のありき
○砂山の砂に腹ばひはるかなる人を想ひぬ旅半ばにて
○いづことも行方定めぬ旅なれど我れもいこひぬ兩國驛にて

6月23日
△小說家國木田獨步逝く（明治四一）△國學者物集博士逝く

時代警語

○事の實習は學塾に優る……………（ドルク）
吾人の日々、家庭に、街衢の間に、工場に店舗に、群衆熱沓中に得る處の實益 遙かに學校の敎への上にある、實驗活用の學問の在る所である……………

社會の今日

（昭和三）△早大總長高田早苗氏辭任、田中穗積氏後任に決定△世界早廻りの米機ポスト、ゲチ兩氏ニューク出發（同六）

○
せめて食ふに困らないよな世になれと投票箱へ入れる一票　花岡謙二
山脈が音も無く青い六月の薄ら明りに迷ふかうもり　相深正己

植田から

樋田生

（上）

今後の農村が、どんな陷穽へと落ち果てては行く事だらうか。之れが最近農村から揚げられる異口同音の悲痛な叫びでなければならない。彼等は働けば働く程經濟的に幾多の悲慘を重ねなければならぬことになつてゐる。それは今期春繭の賣上げ成績が何によりも雄辯に物語つてゐるからである。だが農村は元來が原始産業として常に自給自足の生活に慣れて來た關係上、彼等には餘りに極端な悲慘事が見られないと云ふ强味だけはある。卽ち惩ふした農村よりも尙は遙かに勝つて悲慘な階級が今や至る處にうよ／＼としてゐる事實を見逃してはならない。それは各方面の生活線上の落武者が、昨今の如き農繁期を目當てに農村へ、農村へと入りびたつては來て、どうか食つたゞけでも良いから使つて貰ひたいと頭を低ふして嘆願に及ぶ連中が今年に入つてからめつきり其の數を增して來た事でも解る。

之れは泉村の或部落での話だが洋服を着た一人の紳士がやつて來て例の如く嘆願にと及んだものだ、お姿から田植が出來るのかと聞いて見ると案外平氣に出來ると云ふので使つて見た處、どうしてやつた覺えのない仕事が出來やうわけがあらう筈はない。いくら植方を敎へてやつても其の通りには出來ないばかりか、件の男のやつた仕事は其の後から一人が掛り切つてやり直しをせねばならぬ始末なので農家の主人公どうして堪忍袋の緒を切らずに居られやうぞ、最早頼まぬから歸つて貰ひたいと言つたものだ、だが男は仲々歸る氣配がない、最後に叱り付け、なぶつて見ても尙歸らうとはせぬので、とう／＼其の男に若干の金を與へて歸してしまつたと云ふのがある。男と云ふのは地方を徘徊してゐた活動辯士であつた。當時は相當の腕を鳴らしたものだつたが今は仕事にあぶれ果てて此の始末だと告白し再びあてどもなく立ち去つて行つた。流浪の旅よ何時迄續く。

拈華微笑

人事を悉して寸刻も生き伸ばし度い親を擊つた事件が湧いた

◇

顚頂部數莖の髮惹く、井上縣議明後廿四日午後四時半平町歸著

◇

今日も溺死一件そろ／＼水の魅惑。親達御注意

◇

道理で素ばしこい。燕の於千代だつた

◇

不景氣話の塵寰を離れて一竿の風月を娯む太公望、鮎解禁迫る

○……○

講談 お蘭陀お蝶 (62)

渡邊默禪作
布施長春畫

其の籠の目から茶色の美しい雁の翼が洩れて見ねた時、お柳はふつと何か思ひ浮んだ、忽ちにつこりと領いて急いで部屋へ駆け込んでさら／＼と筆を流したのがお吉への消息であつた。

彼はそも何を書いたか？

さまでに思はなかつた他人の問題、今は利害所を異にして自分の頭上に落ちかゝる大問題となつた。

頑松が歸つてからは、何となく手紙のことが氣になつて落ち着いてゐられなかつた、やがて三好屋に着いて今頃はお嬢さま 其の返辭を渡した時分だと思ふとお吉の辭いだり怒つたりする顔が目先にちらついて來て、一入不安の念に搖られる、かくしてお柳は今までに覺えなかつた、義理と云ふものの苦きを味わいつつその義理さへも犧牲にすることを厭はぬ或感情の働きを新に經驗して、どうしてこんな訝しな氣になつたらうと、我ながら不思議におどろくのであつた。

でも体は休む暇がないそれから／＼と春の準備に忙殺されて、いつとはなしに其の日を暮してしまつた。

夜の食事後は門弟共から賴まれた繕ろひ物を濟まして、是は格之助が元日に着御そうとするのである。仕立て殘りの肌着に取り掛つた、

戸外は殺れになつたらしく小庭の竹にさら／＼と玉走る音がする、昔さへ森とした屋敷町ではあるが流石に大晦日前の宵の口、鬧を凍らした巷を走る北風の中から物賣りの鈴やら、醉の鼻唄やら、急しそうな下駄の響やらが聞えて來る

一人、つくねんと茶の間に坐つてゐたが寒さに針つ手もかぢけそう、それを大事らしく白羽二重の衣に運んでほの暗い行燈の火影を辿ると縫ひ込む糸こそ一直線だが思ひは縦橫に胸に亂れて果ても知らず迷ふのである。

『眞實かね、松どんの言つたことは？普段馬鹿正直だと皆んなの笑ひ物になつてゐる位の人だから、よもや嘘と云ふ氣遣はないが……眞實だとすると、私、大變だわ、だし拔けにそんな……知らないわ、私……まア如何したらいゝだらうね、お人が惡い御隱居さまも、默つて知らない振りをして眞面目くさつて、此處二月か三月、お手傳ひに上るんだ、行儀見習ひならお武家に限るなんて嘘ばつかり……餘り酷いわ、それぢや……當家の主人さまも主人さまだ、內密でこつそり約束を遊ばすなんて法はないぢやありませんか、私を出し拔いてさ……一体こんな者がどこかお氣に召したんだらう、別に取柄がないのに……當家はお身分のある立派なお武家で而も世間から擧人だなんて敬はれてゐらつしやる先生、私は家も親も親戚もない一人ぽつちの孤兒人樣の情けに縋つてやつとのことに命を……事に依つたら其の境遇を可哀想に思召して一生助けてやらうといふお二人樣の御相談かも知れぬ、ア、有難い、お父さんの永らへてゐる中にこの話しを聞かせ申したならまあどんなにお悅びなさつたか知れはしないのにね』

と考へる下から、ほろりと熱い雫がこぼれて仕立物の上に落ちたので慌てゝそれを拭つた。

『オホヽ、不吉だわ、お正月のお召物に涙なんぞ、若樣に叱られるわ』

と淋しく笑つて

『でもねえ、若樣はどう思召してゐらつしやるか、分りはしないわ、當家に上つてから柳や／＼とおつしやつて、あんなに愛して下さる位だから決して惡くは思つてらしやらしまいけれど……』

ラヂオ

…二十三日（木曜）… 仙臺 JOHK

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇 料理獻立（鷄肉の潰汁吸物）松本良雄 日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座（歐洲みやげ話）岡本かの子
△正午 A 時報
△後〇、〇五A 浪花節（越後傳吉孝子傳）小金井太郎
△〇、四〇A ニュース 氣象
△二、〇〇A 家庭大學講座（世相の變化と日本婦人の立場）文部省社會敎育官 水野常吉
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇 ニュース
△六、〇〇A （子供の時間）管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
△六、二〇A コドモの新聞 村岡花子
△六、二五A カレント、トピックス ハロルド、パーマー
△六、三〇A 英語講座（中等科）久野朔郎
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇A 講演
△八、〇〇A 新内（恭大平記白石噺…揚屋の段）富士松都樂美 鶴賀秉歳 富士松和歌之助
△八、三〇A 運動競技（第十回國際オリムピック派遣選手レスリング選別試合狀況）日比谷公會堂より中繼
△九、〇〇B 連續講談（加賀評定織田大炊）旭堂南陵
△九、三〇A 時報 ニュース 氣象 生繭相場

舊五月二十日 木曜 乙卯 赤口 收 井宿
六月二十三日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 大事に倒れんより小利に甘んずべき注意日▲二黒の人 資力乏しくして好機に乘じ難き不愉快の日▲三碧の人 着實なれば諸事順調に進む他のそしりを避けよ▲四綠の人 門口を出づれば七人の敵あることとわざを忘るるな▲五黄の人 內を忘れて外事にのみ熱中すれば過ちあり▲六白の人 人後に在るも一氣に精力を集注すれば勝利▲七赤の人 運根力の交響樂を以て進行すれば榮を蒙る▲八白の人 腰くだけて呆氣なき敗れを取る日輕擧を戒む▲九紫の人 稲ろくは人にさらはるる如し油斷なく實直たれ

磐中平商野球練習協議成立

磐中、平商野球部は縣下の大會を控へ豫選を突破すべく猛練習を意氣込んでゐたがグラウンドのない平商と練習相手のない磐中は相互に提携し每土曜練習試合をなす事に兩監督との間に此程交涉成立愈々今週より開始すると

。。。。。
三振對驛前 今二十二日午前五時から第三校で。二十二對一、三振捷つ
。。。。。
四丁目對五丁目 昨二十一日午前四時から第三校で七對六。五丁目勝つ
。。。。。
三丁目對大室屋 明二十三日午後四時から第三校で

四倉通信

。。。。。海氣館增築 四倉町海氣館では去月中より客間の增築並に修理中此程落成した

。。。。。感心な等少年 大浦村大字上仁井田賀澤源之助長男高等二年生等（一五）君は農休みを利用し每朝草花類を四倉町に牽き出し其の賣り上げで家計を手傳ひつつあるので近所の褒め者となつてゐる

。。。。。手の長い女給 四倉町字本町カフエー千鳥女給關口マキ（二五）は去る十七日午後八時頃附近の洗濯物數點をはづして其筋に探知せられ取調べを受けた

本日より『魚榮』自慢の大蒲燒の外に江戸一流の職人を迎へ！味と体裁の良い都壽司是非一度御試食を願ひます。

うな丼 金三十五錢 金五十錢
大蒲燒 割烹 壽司 仕出し 折詰
田町 魚榮 電話四二四番

內科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎 市原陸郎 市原三男
平町田町本通
市原醫院（入院隨意）電話一二四番

横濱植木株式會社特撰
草花、蔬菜類
優良種子
各種賣出し致しました。
農園藝やく品の御相談は
西村屋藥局 電話三番

平町田町
高久病院（電話五一三番）
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽濟
藥劑士 佐竹菊[illegible]

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局 電話四〇番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平一五〇七番

涼味！輕快!!
麥帽
ネクタイとワイシャツ
●常に新らしき品、定評ある、廉價そして豐富●

中野洋品店 平二丁目（電話五三番）
三井生命保險株式會社
第一徵兵保險株式會社
代理店
●第一徵兵有給社員招聘●
詳細は御來店下さい

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院
看護婦募集

胃腸病の藥の王座を占むる純漢法藥
松前家傳 靈効散 無効返金
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致ました。今迄のは福島市で製藥したので兎角の批評ありましたが今度のものは眞正のもので奏効確なものです服用しなくては其の眞價が判りませんから皆樣へ見本を差上ます。御遠慮なくいらして下さい！見本品でも二日間飲まれますから輕い病氣なら治つてしまひます。小兒用の靈効散も出來ました。胃腸病に苦しむ方、腦病、心臟病、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致ます。
定價…試用分八日分五十錢 輕症用廿日分壹圓 重症用四十五日分貳圓
靈効散賣販部 地方代理店 平町古鍜冶町（縣社の下）
阿康藥舗（電話四四番）

親子喧嘩の激憤から 父が撃たれて生命危篤

痴情問題が禍因をなした ——醜悪な小名濱の骨肉鬪爭——

岩瀬郡須賀川町大字馬場字東四三居住石川郡川東村大字上小山田字遠南四生れ食肉商益藏長男西間木武(三三)は去る十八日以來小名濱町上明神町磐城劇場前に居住する實父益藏(五三)方に止宿中昨二十一日午後十一時二十分頃實父と激論の末戸外に飛び出し屋内佛壇の前に座つてゐた益藏目蒐けて六連發ブローニング式ピストルを發射し三發中二發は佛壇の硝子扉と柱にそれたが一彈は正しく胸部に命中し被害者を其場に昏倒させた處を直に警官に逮捕された急報に接し平支部から藤原豫審判事、市川檢事が平署員數名と共に現場に急行目下同町警部補派出所で加害者を嚴重取調べ中である、被害者は平町上田病院で手當中であるが肺の急所は外れてゐるが却々の重態であると

被害者益藏は四年前須賀川町に居住中加害者の實母に當る妻ヨシ(五〇)を離別し其のあとへ錦村生れの鷺トメ(四八)を引入れた爲兎角家の中が丸く行かず三年前から次男保(二四)長女みせ(一九)と共に前記小名濱町に轉住し何等なす處なく本籍地にある父祖傳來の田畑を賣り食ひして居た爲に當時十萬圓の家産が次第に傾き始めたので加害者は心痛の餘り從來再三其の無謀を説き改心を迫つてゐたもので今回の來訪も之が爲であつたらしい、因に加害者武は妻よしを(二八)との間に長男正(九)次男孝(四)の二兒あり昨年六月中小名濱町に移した父の戸籍から別れ須賀川町へ出寄留中のものである

夏秋蠶半減

桑不足から手控へ

郡下の春繭は目下出廻りの最盛期にあるが桑葉の成育が充分でなく上簇期直前に於ける大量の給桑に事を欠き貫十五錢の高値を稱へつゝある爲養蠶家中には既に違蠶を生じたのも尠くないが之は不況のドン底から桑園の施肥が充分に行はれなかつた結果で夏秋蠶は之の關係と繭安から何れも掃立てを手控へ大体五割内外の減少と見られてゐる

竹の子の妹芽竹 巡業途中雲隠れ

姉から平署へ捜索願

目下平町聚樂館に開演中の下山竹の子劇團座長東京市淺草區森下町生れ下山竹の子事下山鳥猪子實妹同劇團スター芽竹事下山すい(一八)は十九日茨城縣久慈郡久慈濱から平町へ巡業の途中同座の俳優栃木縣眞岡町生れ志賀玉峯(四八)に誘惑され行方不明となつたが誘拐團に賣り飛ばされる虞れあると姉の竹の子から昨二十一日平署へ搜索方を願ひ出た

失業勞働者延べ 一萬七千人を救濟

完成近き藤原川改修

平土木監督所管内六年度災害復舊工事道路、河川、橋梁、海岸四十八ケ所總工費四萬九千八百八十一圓中藤原川磐崎村澤田、鶴卷二ケ所は此程竣功し他は何れも二分一の竣功で大体來月中旬全部竣功の見込であるが之工事に依り現在迄に落した失業勞働者救濟延人員は一萬六千五百人で勞銀は女五、六十錢男は七十錢乃至一圓である

數字的根據に觀て 絶對足る筈無し

其筋調査の農山村收支

郡駐在米山農林技手は郡内農村の窮状を調査し此程その結果を申報したが何れも悲慘ならざるは無い中にも川前村の如きは米、木炭、養蠶、畜産等の主要收入中水田は一戸平均三反六畝で平年作が既に村民消費の九ケ月分に過ぎず殊に昨年の如きは四分作の凶作で九ケ月分の不足を來し他方面から購入して之に充てた狀態なるに加へ養蠶は一戸平均二反歩の桑園で今日以上の掃立が出來ず昭和四年以來糸價暴落の爲め採算の見込み立たず更に畜産は二才駒現在百三十頭あるが相場は三十五圓臺で飼育の勞力費だけ欠損の狀態であり木炭は亦一俵四貫五百匁の生産費木代十三錢、運賃八錢、包裝四錢、燒賃十一錢合計三十六錢に對し現在驛渡し二十五錢で差引十一錢の欠損と云ふ悲慘な狀態である

各地繭市況 二十日 廿一日

△四倉(二十一日)白總貫數二千八貫、最高二十七圓四十錢、最低二十圓、買驅二十五圓、掛目二十一、黄總貫數二百九十二貫、最高二十六圓十錢、最低二十一圓八十錢、買驅二十五圓五十錢、掛目二十

△植田(二十日)白總貫數二百八貫、最高二十二圓七十錢、最低二十一圓、買驅二十二圓、掛目二十一、黄總貫數百三十八貫、最高二十四圓、最低二十三圓二十錢、買驅二十三圓四十錢、掛目二十

永井郁子女史獨唱會

けふ稀有の盛況裡に了る

磐城高女主催の永井郁子女史獨唱會は今二十二日午後一時から講堂に開催したが聽衆千五百餘名角田よし子氏の伴奏で

荒城の月、出船、ふるさと、かもめ、いとは、ひるのゆめ、日本子守唄、滿洲娘々祭、ロシアバラと乙女、獨乙おればよかつた、英國美くしき、佛セレナーデ、伊サントルチャ、特別に唐人お吉、肉彈三勇士

の番組を了り盛會裡に三時閉會した

磐中プール

經費節約施設

磐中プールは十日間にして水を入れ替えねばならぬが一回三十圓の費用を要するので該經費の節約上カーボリットで消毒し色の濁濁丈けは我慢する事となつた

磐。中。矢。場。開。き。 磐中では矢場新設中であつたが今明日中に落成するので近く大日本弓道會師範赤津一氏を招待し大々的なる矢場開きをなすと

井上縣議

二十四日歸平

過般來滿洲旅行中であつた縣會議員井上茂作氏は戰後の上海に於ける防空消防の視察を最後とし昨廿一日東京に歸著内務省及大日本消防協會其他關係筋に大体の報告をなし明後廿四日午後四時三十六分着歸平すると

鰻捕りに行つて 舟から轉落溺死

錦村の尋常一年生

錦村大字大倉大島熊三孫小學校一年生正木春義(八)は昨二十一日午前八時頃友達數名と共に裏手の鮫川に鰻獲りに出掛けひたし針を引揚げんとした際舟の動搖で川中に轉落したので大騷ぎとなり大人を呼んで搜査の上發見手當を施したが遂に蘇生するに至らず植田署から齋藤部長出張檢視した

新潟港外 浮城の偉觀

各方面へ勸誘狀

第一艦隊が來る二十五日朝新潟港外に投錨し二十六、七の兩日は一般の觀覽を許し二十八日午後六時拔錨船川に向つて出發するので新潟市では此の艦隊に所屬する戰艦、巡洋艦、潜水艦、航空母艦、特務艦等三十四艘に依つて編隊され浮城の如く港外に碇泊し一大偉觀を現出するを機とし今回第一艦隊歡迎協贊會を組織し二十五日夜の煙火大會其他で頻りに人の出足を唆り縣下各方面へも夫々勸誘狀を寄せた

子殺し公判

廿八日平支部で

平町古鍛冶町の子殺し犯人元古河炭礦機械夫高萩新吾(四五)に係る事件の公判は二十八日平支部に於て中島裁判長係り市川檢事關與で開廷される

出場二十校

縣柔劍道大會 八月一日磐中で

八月一日磐中に開催される縣柔劍道大會の出場校は左記二十校である

福師、安積、磐城、福島相馬、双葉、喜多方、保原、白河、安達、田村、石川各中學、蠶業、會津工、岩瀬、會津、相馬各農學校、若松、平各商業學校

内鄕中心に荒す

口を割らぬ三犯の老女賊 福島生れ燕のお千代

内鄕村金坂五一居住福島市陣場町六七生れ佐保安太郎内縁の妻窃盜前科三犯燕のお千代事森田チヨ(五〇)は八日午前十一時頃同村宮服商橋本稻吉方から黑紋付絽羽織外數點價額四十圓を萬引した外十餘件の惡事を働いた事發覺し昨二十一日平署に檢擧されたが駈け出しの洗濯外しなどとは異り一端の姐御氣取りで少しも惡びれた色は無いが容易に餘罪を自白せず係官を手古摺らして居る

内鄕生れの元酌婦 茨城縣で絞殺さる

男も縊首原因不明

内鄕村大字宮佐藤定次方與山まちの長女よの(二九)は先年來茨城縣助川町某料理店の酌婦をしてゐたが其の後日立製作所員久慈郡中里村大字下深萩岩折生れ益子喜代治(三〇)と内縁關係を結び助川町星野塚一五四に同棲中昨二十一日午後零時半前記男の郷里に近き久慈郡高倉村地内墓地で男が縊首してゐる傍に絞殺されてゐたのを通行人が發見、原因其他目下所轄太田署で取り調べ中

鮎の禁漁

漸く近づく

石城郡に於ける香魚は他より一ケ月遲れ愈々來月一日から解禁されるが小川村地内小川江、夏井川の清流には既に潑溂として銀鱗を躍らし例年に無い豐漁を豫想され不景氣話しの塵寰を離れて一竿の風月を樂しまんとする太公望連は早くも道具の手入れを始めた

大。野。櫻。桃。園。視。察。 横濱市植物檢査所刈谷技師は今二十二日午後一時來平伊藤農事試分場長の案内で大野村の櫻桃園外農事一般を視察した

機上車中

（井上縣議）

上海に於ける支那街の激戰地を本日視察を遂ぐ。恰も關東震災後の東京市街の如く慘亦慘、到底復興の見込なしと。船は十七日長崎、十八日神戸行の兩日中に出發歸朝（六月十四日於上海）

欠食兒童增加

郡内小學校員俸給未拂校は漸次其數を增し約七百名の教員中昨今の該當者は約百名近くに達した一面欠食兒童も漸次增加の傾向にあり各校では縣の通牒により今二十二日調査の結果を報告した

辭令

平第一尋高訓導に任ず 松本正治
但本科正教員勤務

植田署員異動

二十日左記の如く管内駐在巡査の異動を行つた

新	舊	
田人	泉	目黒尚信
植田	田人	佐藤武實
泉	上遠野	安齋倉藏
上遠野	川部	富田彌吉
川部	關田	郡魁
關田	署詰	薗部孝之助

農。村。青。年。叱。ら。る。 飯野村南白土農秋山寅五郎(二四)山崎銀次(二六)の兩名は昨二十一日午後十一時頃泥醉の上平驛構内で高歌放吟し平署に檢束され嚴重説諭の上放還された

乳兒を置き去る 新妻まさ(三〇) 四倉町字本町は去月二十七日生後十ケ月の乳吞兒を置きさりにして無斷家出し水戸の某旅館にゐる佐々木某を賴つて來水した形跡があるので二十一日夫正春より水戸署に搜索願ひ出た

野。球。道。具。盜。ま。る。 磐中では此程購入した野球道具三十餘圓分が何者にか竊取されたので今後嚴重取締る事となつたが金錢書物の紛失等もあつたので保原中學の失敗に鑑み一層校風の刷新に努めると

平町慶弔錄

△出生 十五丁目二四岡田健吉三女君子

△婚姻 鍛冶町三五秋元惣一(二九)新潟縣刈羽郡北條村東條二二四五秋元キヨ(二三)

滿洲行 藤田中尉 —(第十信)—

京。城。か。ら。安。東。ま。で。

◇心に南山の艶姿を畫き乍ら汽車は恰も眞暗の海に呑まるるが如く北鮮の野を驅つてゐる名だたる高峰山の片影さへ認め得ない彼の文祿の役三度日本軍を擊破して朝鮮軍の意氣を示した權慄勇戰の幸州城はこの山嶺にあるからである、朝鮮人參で有名な開城は京義沿線平壤につぐ商業地でこの邊り

◇車窓に近く 山衛の此處彼處に見ゆる鮮人の茅屋藁小屋は回春長蔘の靈藥として知られたその高麗人參の栽培圃である、大同江に近く北鮮の中心都市平壤は直行通過した左窓に清川江畔の渺茫たる原野を展望しつつ汽車は新安洲に着くのだ、清川江を渡れば孟中洞嶺美洞、雲田洞、月量洞、と綴けざまに洞づくしの驛を通過する沿線

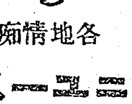
◇一帶の水田 は今植附の眞最中である青い水田に例の白衣の姿の點在するも一興は一興だ、赤土の草原牧牛馬の群れ見慣れぬ野鳥正に北鮮に在るの感濃厚、間もなく定洲についた三四人の係員らしい人々がドヤドヤ車内に入つて來て稅關に關する法規の注意を布達して行つた、而して擧銃に双眼鏡の豫備檢査みたいな事を始めたもう國境も手近にある事が誰人にも肯づかれる、

◇定州は彼の 日露役の折初めて我が加納騎兵中尉が斥候として部下七名と共に敵の前哨二百名と衝突衆寡敵せず遂に名譽の戰死を遂げた所である。其記念碑を車窓より拜禮した。白馬隧道を出ずれば最早鴨綠江の流域だらう一望遮るもの無き右下驛からは對岸の鎭江山も見える、新義州は朝鮮の最北端の市街地江を隔てゝ

◇安東縣の市 街と相對してゐる義安兩市を連絡する長橋今私はこの鐵橋を渡らんとしてゐる兩岸には名物の筏が一ぱい繋がれてゐる。北鮮の國境を流れ流れて二百餘里繪畫に物され詩歌に謳はれた江上の風光は四方の地形風貌に調和してすばらしく悠々たるものがある幅員九百四十四米といふ開閉式大鐵橋も何となく

◇大陸的の氣 分を味ふに相應しい、橋のたもとにはいかめしい日本兵が守備してゐる、而して日露の役には鴨綠江軍の策戰地であつたのだ、元氣な在鄉軍人會と二コヤカな婦人團体に迎へられ安東に着く、既に新國家滿洲國に第一歩を印したのだ、こゝで一時間の停車稅關檢査のためだらう標準

◇時差一時間 とあつて時計はこゝで一時間遅らさねばならぬのだから、八時二十二分に着いた、この列車が一時間停車して出發したのも八時二十二分であつた滿洲時と日本時の相違だ（六月二日安東にて藤田）



各地情痴ニユース

△戀の女中自殺 神戸葺合區八幡通り二丁目山田きみ(二二)はカルモチンを多量に嚥んで自殺を企て手當の結果一命はとりとめた、きみは播州の某家へ女中奉公に行つてゐる中附近の一靑年と戀に陷ちたところ無情にも男が變心したので實家へ歸つた上この始末に及んだものだと

△甘たるい遺書 神戸福原遊廓富貴樓娼妓一軸事大橋竹子(二六)と馴染客湊西區入江通り三丁目生魚行商岡田濟吉(二五)はカルモチン二百錠を仰ぐよく等分に嚥んで生命危篤、原因は添ひとげられないためであるが男の友人に宛た遺書にはもう二人は一分間も離れては暮せないとふるつた文面が並べられてゐると

△夫婦戰線異常 岐阜縣武儀郡下之保村料理業森伊造(五三)と高田くに(三三)の兩名は内縁關係を結んだのに間もなくくには飛び出して岐阜市梅河町飲食店一丸亭の酌婦となつた伊造の説諭願ひで呼び出されたくにが岐阜署で『考へてご覽、あの爺ではねえ』に係官ダー

△不動産で駈落 京都七條署では年若い男女を目下取調べ中であるが右は愛媛縣新居郡橘村隆義二男農矢野小一(二五)女は同郡西條吉原町藝妓置屋岡本ゆき方藝妓妻菊事大野まり子(一九)で小一は不動産田地八反歩を賣拂つて駈落して來たものであると

△妻を寢とらる 秋田縣仙北郡上宮町後德次(三六)といふ按摩さんは内縁の妻山中みき(三九)と四國遍路の途次京都市の或る安宿で怪しい男がみきを盗み出し德次を置き去りにして姿を晦ましたとて七條署へ盲いた兩眼から涙を流して泣きついた。

廣告

恩給 年金 簡易保險即時 立替
無盡通帳 其他債券 賣買
平町一丁目一四番地 鈴木重藏

專門大家が畢生の苦心
絶對の『治淋藥を完成』强力の注射原藥を内服さす。
創製者 間部薫
責任保証 リン病 消渇 間部淋藥
初期にてウミいたみ、コシケある方は勿論ツマラヌ家傳藥危險な注入藥熱療器等に懲りた慢性患者は必ず此藥の卓越性を發けんす
淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない
(特長の一)此藥は性病ひ尿科の大家特に淋病消渇治療の權威東京銀座・間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり
(特長の二)先生が病院で毎日患者に使用してゐる獨特の注しや原藥を主劑として之に洋藥漢藥の粹が配され殺菌力强大なり
(特長の三)服用後强烈な殺菌力を有する注しや原藥が全部尿に混り放尿毎に尿道粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す
(特長の四)患者じ身の洗じよう注入は慢性やコウ丸炎又は婦人ならばミこうカタルになる恐ろしい危險があるが本劑は自然に内部から尿により洗じようされ菌を一掃するから絶對その心配がない
(特長の五)じよう劑の藥効が强いに絶對副作用なく安心して服める
【註文】は來訪カワセ振替代引でまうし込次第急みつ送す
【藥價】一週(輕症)參圓 惡性(五圓) 送料十二錢
(各種有名賣藥アリ)
縣下一手販賣店 星製藥磐城配給所 ホシチエーンストアー平支部
平町三丁目舊郵便局隣 電話四二九番

外科 内臓外科 整形外科 外科一般 醫學士 松永憲一
產科。婦人科 院長 木村寅次郎
平新川町十九 木村病院 電話一六四番

初夏サロンの新装
店内清楚にして氣持良く
アイスクリーム（十五錢）
タンク入りソーダ水（十五錢）
ドーゾ御用命を……
田町 サロン 電三五二番
（男給見習數名募集）